

災害ボランティア活動をサポートする 災害ボランティアセンターとは？

災害ボランティアセンターとは？

災害時に設置される被災地での防災ボランティア活動を円滑に進めるための拠点です。近年では、被害の大きな災害に見舞われたほとんどの被災地に立ち上げられ運営されています。

災害ボランティアセンターの活動内容

【被災地のニーズの把握】

- ・家の片付け、避難所でのお手伝いなど、被災地の暮らしのニーズを収集します。
- ・地域の実情をご存じのリーダーの人たちなどを通じてニーズの収集を行うほか、チラシを配布したり直接要望を聞いて回ります。



【ボランティアの受け入れ】

- ・災害ボランティアセンターを立ち上げた場所を被災地内外に情報発信し、活動を希望するボランティアの受付を行います。
- ・ボランティア活動を希望する人は、まずは災害ボランティアセンターを訪れ、状況把握や活動の準備をすることになります。



【人数調整・資機材の貸し出し】

- ・被災された人たちからのニーズにあわせて、必要なボランティアの人数などを調整します。
- ・活動のために道具が必要な場合、それらを準備して貸し出します。



【報告・振り返り】

- ・活動結果、気が付いたこと、住民からの要望などをボランティアから報告を受け、その後の活動のために活かします。
- ・改善すべきことがあれば、センター運営をする人たちで話し合い、対応を考えます。

活動するための手順

(1)正確な情報を事前に入手

被災地の災害ボランティアセンターなどに連絡し、ボランティア募集・交通手段等について確認しましょう。

(2)出かける準備

活動中に何か事故にあっても自分で対応することになりますので、近くの社会福祉協議会でボランティア活動保険に入りましょう。食事・宿泊場所は、各自で確保しましょう。

最低限必要な物のチェックリスト

災害の種類・季節などによっても準備品は異なりますが、基本的には以下のようなものが必要となります。

詳しくは、現地の災害ボランティアセンター等へ確認して準備してください。

作業着 (長袖、長ズボン)	帽子 (キャップ型)	雨具 (カッパ、レインコート等)	防塵マスク
作業用ゴーグル	軍手	作業用のゴム手袋	ゴム長靴(安全靴)
タオル	ラジオ	携帯電話	飲料
弁当	塩飴	防寒着	健康保険証

活動上の基本的な心構え

①「出かける前の準備をしっかり」

情報収集、体調管理、食事や宿泊場所の確保、交通費の確保など。

②「被災者の立場に立った活動を」

挨拶や言葉遣い、約束・プライバシーを守るなど、基本的なことを大切に。被災地での集合写真は心情を考慮して絶対にしない。

③「断る勇気を持つ」

作業に危険を感じたときは、「できません」「無理です」とはっきりと。

④「自分で考えて」

周囲の様子をよく見て、自分が出来ることをやってみる。
無理はしない、こまめな休憩を。

⑤「地域住民の自立を支援」

被災者に協力して一緒に復興を目指す。

災害ボランティアセンターにおける 活動の流れ

①ボランティア受付



センターに到着したら受付票の記入と、名札の作成、ボランティア活動保険未加入の方は保険に加入します。

④資材機の貸出・送迎



必要な物資や機材等の貸出を行います。
必要に応じてボランティアを送迎します。

⑤救援活動



被災者に『寄りそう』という気持ちを大切にしながら、福祉救援活動を行います。

②オリエンテーション



スタッフから活動上の留意事項等の説明を受けます。

③ニーズとのマッチングと グルーピング



被災者からの依頼内容の説明を聞き、参加したい活動に手を挙げて意思表示し、グループになります。そしてグループの中からリーダー決めを行います。

⑥活動報告



リーダーは活動状況、活動の継続有無などについてスタッフへ報告します。